

2012 年度 国際漁業学会大会個別報告プログラム

8月4日(土)		
時間	座長	報告課題・報告者
09:30   09:55	(水産総合研究センター) 宮田勉	1-1. カンボジアの水産物の非対称価格伝達分析  三重大学大学院・東京大学大学院・富山県庁・東京大学大学院 松井隆宏・中島亨・小塚晃・八木信行
09:55   10:20		1-2. 環境配慮型水産物に対する購買行動要因の検討  京都大学大学院・近畿大学 大南絢一・有路昌彦
10:20   10:45	(三重大学) 松井隆宏	1-3. マダイ養殖業の展開過程と今後の戦略に関する計量経済的分析  近畿大学大学院 阪口潤・高原淳志・有路昌彦・多田稔
10:45   11:10	(東京大学) 中島亨	1-4. クロマグロ漁獲規制の影響に関する構造方程式分析  自然産業研究所 高原淳志・有路昌彦
11:10   11:35		1-5. 太平洋クロマグロの資源動向分析  近畿大学 多田稔

※報告時間は17分、質疑応答は8分です。

8月5日(日)		
時間	座長	報告課題・報告者
09:00   09:25	(三井隆大 松井隆宏)	2-1. DHA 原料魚の需給動向と供給安定化の経済的影響についての分析  近畿大学 牧野泰子・高原淳志・有路昌彦・多田稔
09:25   09:50		2-2. 京都府産ヤナギムシガレイの価格関数分析  近畿大学大学院 上村泰士・高原淳志・有路昌彦・多田稔
09:50   10:15	(東京大 中島亨)	2-3. 我が国のエビ類市場に関する定量分析  近畿大学 有路昌彦
10:15   10:40	(明海大 山下東子)	2-4. 漁村コミュニティビジネスの含意と成立条件 ～江口浜漁協「蓬莱館」事業を例として～  東京海洋大学大学院 呂しょう・婁小波
10:40   11:05		2-5. Change of the Turkey-Japan trade of fish-related commodities and its future possibilities  Nagasaki University, Graduate School Mahmut Munir Guzel
11:05   11:15	休憩	
11:15   11:40	(東京海 婁小波)	2-6. 大西洋クロマグロ、ミナミマグロの個別割当制度に関する法社会学的分析  東京大学大学院 菊池里紗・大石太郎・八木信行
11:40   12:05		2-7. 気仙沼近海まぐろはえ縄漁船の収益性向上に資する漁場選択  水産総合研究センター 鶴専太郎・宮田勉・溝口弘泰・岡谷喜良・小河道生
12:05   12:30		2-8. ヨシキリザメの流通と課題 －近海マグロはえなわ漁業経営の改善を目指して－  水産総合研究センター 宮田勉・上野康弘・鶴専太郎・小河道生

※報告時間は17分、質疑応答は8分です。